

デジタル読解力に関する PISA2009 年調査結果 エグゼクティブ・サマリー

PISA（生徒の学習到達度調査）では、読解力を、自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考し、作成する能力と定義している。この定義はプリントとデジタル両方の読解に適用される。

調査に参加した OECD16 カ国の生徒の約 8%がデジタル読解力の最上位レベルに達している

レベル 5 以上の生徒は、いくつかのウェブソースの情報を評価し、その内容の信用性と有用性を測定し、自律的かつ効率的に膨大なテキストの海をナビゲートすることができる。しかし、このレベルに達している生徒の比率は国によって大幅に異なる。韓国、ニュージーランド、オーストラリアでは生徒の 17%以上がこのレベルに達しているのに対し、チリ、ポーランド、オーストリアではこのレベルに達している生徒は 3%未満である。

同時に、韓国を除く全ての調査参加国及びパートナー国には成績の悪い生徒が多数存在している。チリ、オーストリア、ハンガリー、ポーランドでは、デジタル読解力がレベル 2 以下の生徒が全体の 4 分の 1 以上を占め、パートナー国のコロンビアでは生徒の約 70%がレベル 2 以下である。レベル 2 以下の生徒にはデジタル読解力がない、ということではない。レベル 2 以下の生徒の多くは、はっきりと指示されれば、ウェブページの海をスクロールし、ナビゲートすることができるし、短いハイパーテキストの中から単純な情報を発見することもできる。しかし、レベル 2 以下の生徒は、21 世紀における教育、雇用、社会参加の機会に完全な形でアクセスすることができない。

デジタル読解力のトップは大差で平均得点 568 の韓国

韓国以下は、ニュージーランド、オーストラリア（両国とも 537 点）、日本（519 点）、パートナーの香港（515 点）、アイスランド（512 点）、スウェーデン（510 点）、アイルランド（509 点）、ベルギー（507 点）の順である。パートナー国のコロンビアの平均得点（368 点）は、他の調査参加国及びパートナー国の平均得点を大幅に下回っている。

大半の国ではデジタル読解力とプリント読解力は密接に関連している

調査に参加した OECD16 カ国では、デジタル読解力がレベル 5 以上の生徒の比率は 7.8%、プリント読解力がレベル 5 ないし 6 の生徒の比率はそれよりやや高い 8.5%だった。平均では、デジタル読解力がレベル 2 以下の生徒の比率は 16.9%、プリント読解力がベースラインのレベル 2 以下の生徒の比率はそれとほぼ同じ 17.4%だった。

しかし、ポーランド、ハンガリー、チリ、オーストリア、デンマーク、パートナーの香港、

パートナー国のコロンビアでは、平均すると、プリント読解力がデジタル読解力を大幅に上回っている。逆に、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランド、スウェーデン、アイスランド、パートナーのマカオでは、平均すると、デジタル読解力がプリント読解力を大幅に上回っている。デジタル読解力、プリント読解力とも成績上位にある国ではデジタル読解力がプリント読解力に勝り、成績下位国では、香港を例外として、プリント読解力がデジタル読解力に勝る傾向がある。

全ての調査参加国及びパートナー国で成績の男女差はプリント読解力よりデジタル読解力の方が小さい

女子は男子より、プリント読解力では平均で 39 点高く、デジタル読解力では平均で 24 点高い。デジタル読解力の男女差が最も大きいのはニュージーランド (40 点差)、ノルウェー (35 点差)、アイルランド (31 点差)、アイスランド (30 点差)、ポーランド (29 点差)、オーストラリア (28 点差)、スウェーデン (26 点差) である。プリント読解力が同レベルで、生徒個人や学校の特徴もいくつかの点で類似している男子と女子を比較すると、デジタル読解力は男子の方が女子より高い。その差は、デンマーク (22 点差)、オーストリア (17 点差)、ポーランド (11 点差)、ハンガリー (11 点差)、スウェーデン (8 点差)、韓国 (7 点差)、スペイン (6 点差)、アイスランド (6 点差)、オーストラリア (5 点差)、パートナーの香港 (17 点差) 及びマカオ (10 点差) である。

優秀なデジタル読者は効果的かつ効率的なナビゲート法を知っている傾向がある

デジタル読解力では、読者がナビゲーションを通じてテキストを「構築」していくので、ナビゲーションが中心的要素となる。したがって、ナビゲーションの選択はどのような種類のテキストを処理していくかに直接的に影響する。巧みな読者は一般に個々のタスクのニーズに適した戦略を選択する。優れた読者は、多くの場合、関連のないページへのアクセスを極力少なくし、必要なページを効率的に発見する。しかし、PISA の結果によれば、ナビゲーションに関する指導を明示的な形で行った場合でも、多くの生徒は決定的なページを発見することができない。デジタル読解力調査は、「デジタルネイティブ」である現在の 15 歳児が必ずしも、よく言われているように、デジタル環境を効果的に使いこなせるわけではないことを示す強力な証を提供している。

生徒の読書に対する態度とその社会経済的背景や移民であるかどうか、プリント読解力とデジタル読解力の両方に同じように関係している

大半の国で、読書に最も熱心な生徒と最も熱心でない生徒の読解力の平均得点差は 88 点にも達する。平均すると、読書に最も熱心でない生徒がデジタル読解力で悪い成績をとる可能性は読書に最も熱心な生徒より 2 倍高い。大半の国で、この結果は男子にも女子にも当てはまる。

ある種のオンライン活動への関与もデジタル読解力の成績に影響する。デジタル読解力調査に参加した 19 カ国・地域の全てで、オンラインで情報検索する頻度の高い生徒ほど、デジタル読解力の成績は良かった。電子メールやチャットなど、オンラインの社会実践に馴染みがないこととデジタル読解力の成績が悪いことは関係しているように思われる。しかし、頻繁に電子メールやオンラインでチャットをしている生徒も、これらの活動をわずかししか行っていない生徒より、成績は良くない。

ICT の利用が近年急増している結果、1 度もコンピュータを利用したことがないと回答した生徒の比率は OECD 諸国全体で 1%未満となっているが、ICT 利用のデジタル格差は国内的にも国際的にも依然として大きい

PISA の 2000 年調査と 2009 年調査に参加した OECD 諸国の平均で、自宅にコンピュータが 1 台以上あると回答した生徒の比率は、2000 年の 72%から 2009 年には 94%へと上昇している。この期間における自宅にコンピュータがある生徒の比率の上昇幅は、社会経済的に恵まれている生徒（7 ポイント）より恵まれていない生徒（37 ポイント）の方が高い。さらに、自宅でインターネットを利用していると回答した OECD 諸国の生徒の比率もこの同じ期間に 45%から 89%へと倍増している。

OECD16 カ国、パートナー国のリヒテンシュタイン、パートナーのマカオ及び香港では少なくとも 95%の生徒が自宅でコンピュータを利用していると回答したのに対し、日本(76%)、チリ(73%)、トルコ(60%)ではこの比率は大幅に低い。日本の場合、生徒は電子メールやインターネットへのアクセスに、パソコンではなく、携帯電話を使用していることが多い。

PISA2000 年と 2009 年の両方のデータを入手できる OECD27 カ国の全てで、この期間に学校の生徒 1 人当たりコンピュータ台数は上昇しており、これは ICT 関連資源への投資が大幅に増えていることを示している。しかし、学校でコンピュータを利用していると回答した生徒の比率は国・地域によってまちまちである。

国内的には、デジタル格差は多くの場合生徒の社会経済的背景と関係している。社会経済的背景が恵まれている生徒は、恵まれていない生徒より、自宅でのコンピュータ利用度やインターネットへのアクセス度が高い。しかし、一部の国では、恵まれない生徒が学校でコンピュータを利用する機会を増やすことで、自宅でのコンピュータ利用格差が縮小されている。

調査に参加した 17 カ国及びパートナーの全てで、自宅でのコンピュータ利用はデジタル読解力

の成績と関係しているが、学校でのコンピュータ利用は必ずしも関係していない

余暇や宿題のための自宅でのコンピュータ利用度とデジタル読解力の成績の関係は、直線的な関係ではなく、逆 V 字型の関係である。言い換えれば、あまり利用しない生徒や頻繁に利用する生徒より、少し利用する生徒の方がデジタル読解力の成績は良い。これに対し、生徒の学校でのコンピュータ利用度とデジタル読解力の成績の関係は、緩やかな上昇曲線を描いた負の関係である。つまり、利用が多いほど成績は下がる。学校で頻繁にコンピュータを利用している生徒は、他の生徒に追いつくために追加的な課題をこなす必要のある生徒か、勉強を終えるためにより多くの時間を必要とする生徒かもしれない。

生徒の学力を考慮すると、自宅でのコンピュータ利用度、特に余暇のためのコンピュータ利用度はナビゲーション技能やデジタル読解力の成績アップと正の相関関係にあるが、学校でのコンピュータ利用度はそうではない。これらの調査結果は、生徒は主に自分の興味を追求するために自宅でコンピュータを利用することでデジタル読解力を発達させている、ということを示唆している。

データを見る：<http://dx.doi.org/10.1787/888932436670>